

## 主 文

本件抗告を棄却する。

## 理 由

本件抗告の趣意のうち、越谷簡易裁判所の職員が、申立人に対する損害賠償の請求者と通じていたことを前提に、憲法三一条および三七条違反をいう点は、記録によればそのような事実は認められないから、所論は前提を欠き、その余は、違憲をいう点もあるが、実質はすべて単なる法令違反の主張であつて、刑訴法四三三条の抗告理由にあたらない。

よつて、同法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四六年七月七日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	岡	原	昌	男
裁判官	色	川	幸 太 郎	
裁判官	村	上	朝	一
裁判官	小	川	信	雄